

Satellite 2008 Conference & Exhibit and SSPI Gala に参加して

特別編集顧問 北爪 進

概要

2008年2月25～28日 Washington Convention Center にて開催された Satellite 2008 Conference & Exhibit と SSPI Gala に参加する機会を得たのでその概要を報告する。今年の Satellite Conference & Exhibit での Topics は “The Sixth Decade” である、Sputnik が打ち上げられて 50 年、この間宇宙産業が達成した業績と次の 10 年でどのような発展が期待されるかを議論することである。もう一つの Key word は “Ka-band Broadband ” であろう。商用衛星の発注量も寿命の来た衛星の後継機発注に加え新規プロジェクトの衛星発注も加わり 2007 年の 24 機の発注の水準は維持されるであろうとの予想である。又 Satellite Executive of the Year では C-Band Team の受賞となったことには少々驚きがあったが CEO 以外の受賞で新しい道が開かれた。SSPI では祝賀会が盛大に挙行された。

Conference

今年のもう一つの話題である Ka-band Broadband は Wild Blue に加え HNS の Spaceway や ViaSat-1 計画など、コンテンツが確かならば HDTV サービスも加わり今後の衛星通信の活性化に寄与する話題が豊富である。

Pri-day の 2 月 25 日には例年通り Satellite Workshop が開催された、2 月 26 日の初日には **Opening Remark/Welcome Speech** に引き続き行われた **General Session, “Expanding Market Growth and Driving Applications”** では世界の主要な Fixed Satellite Operator の CEO による Table Discussion が行われた。パネリストは Messer Romain Bausch, President and CEO SES Global, Giliano Belletta, CEO Eutelsat, Dan Goldberg, CEO Telesat, David Mcglade, Intelsat, の 4 人の CEO に Scott Chase が Moderator として加わり討論が行われた。

衛星メーカーの代表が加わっていないのが時代の趨勢であろうか、討論は衛星通信マーケットの動向、その拡大計画と New Application の開発などが討論された。

一昨年の PamAmSat と Intelsat の大型合併や今年 3 月の JSAT と宇宙通信との合併など衛星通信オペレータも寡占状態に成る傾向を示しており、競争が激化すると共に地域ごとの Operator 間の協力関係が模索されているようである。

Fixed Satellite Operator は New Market Opportunity としてコンテンツの確かな開発によって HDTV を武器に Video Market の開発に期待を持っているようであった。



Pelton 先生と SSPI Gala で



Fig-1 Operator CEO Roundtable

2月27日の” **The Satellite Manufacturers CEOs: The Spacecraft Connection**”では Messer Marshall Byod, General Manager L.M., Patrick DeWitt, CEO Space System Loral, Evert Dudoc, CEO Astrium Satellite, Steve O’Neal, President Boeing Satellite Systems, Christopher Richmond, SVP Global Communications, Orbital Science Corporation, Pascale Sourisse, President and CEO, Thales Alenia Space の6人の衛星製造業者の top が参加し討論が行われた、例年参加する COM DEV の John Keating が不参加であった。今回は昨年1年間における衛星の発注量が増加し今後この上向き傾向は続く見通しで明るい話題であった、又小型衛星の開発を中心に行っている Orbital 社の代表が参加し2007年度市場に出た小型商業衛星5基中4基を受注し大型衛星志向に変化をもたらす傾向は定着することが顕著になった事をしめした。この分野では近い将来中国やインドの登場が予想され益々価格競争を激化させるであろう。このような状態の中で商用衛星市場に特化しているのは SSL と Orbital の2社程度で Boeing Satellite Systems の Steve O’Neal は商用衛星と軍用衛星の両方の組み合わせによるシナジー効果を主張しているように Boeing や L.M、欧州勢は今後の生き残り政策として軍事衛星とのシナジー効果に期待をよせているようであった。



Fig-2 Satellite Manufacturer's CEOS

Satellite Broadband: is Ka-band the way to grow

衛星通信での新市場開発を模索してきた結果、大容量伝送の Ku-,Ka-Band Satellite Communication が今年の重要テーマになっていた、コンテンツとしての HDTV の普及や Ancillary Terrestrial Component(ATC)の活用など、更に WildBlue の普及 Speceway の復活、ViaSat-1 計画などが紹介論議された、討論では Messier John Celli President COO SSL, Mark Dankberg, CEO ViaSat, Paul Gaske, EVP Hughes, Erwin Hudson, EVP & CTO WildBlue, Blaise Jaeger, Thales Alenia Space, Philippe Saint-Aubert, SVP Astrium, Jim Simpson, VP Boeing Satellite System に加え Dr. Sachdev が討議をリードしていた。



Fig-3 Ka-Band Broadband discussion

Satellite Executive of the Year Luncheon

2月27日に開催された Satellite Executive of the Year Luncheon では、従来受賞者は各社の CEO が受賞していたが、事務局は CEO だけでなく衛星通信事業に貢献した実務者の表彰も必要と判断して選考作業としては困難があったが広く宇宙産業界の中から受賞者を選定するように方針変更したようである、The industry team that safeguarded access and use of C-Band spectrum としてそれぞれの組織で Spectrum Management や Regulatory Issue に貢献した Messier John Lothian SES, Kengi Chen Inmarsat, Kalpak Gude Intelsat の3名が選ばれた、受賞式と Satellite Executive of the Year Presentation が Boeing 社の主催する Award Luncheon 会場にて行われた。



Fig-5 Satellite Executive of the year 受賞のスピーチ

展示会場

展示会場は今年も 300 社超の出展で例年に勝る盛況であった。日本からも NEC マイクロ波管(Microwave Tube Ltd), NT-Space, 新日本無線(New Japan Radio Corp),の出展があった。主要衛星メーカーのほかに Satellite Broadband Application として DVB-RCS, DVB-S2,IP-STAR,Wild Blue 対応の地上装置の展示が多かった。



Fig-6 展示風景



Fig-7 展示風景(XTAR)

“Innovation for the idea of a commercial X Band communications satellite for the government”への貢献で昨年（2006年度）の Satellite Executive of the year の受賞者であった XSTAR COO の Dr. Curtin が自社の展示ブースに自ら立って客への PR を行っていたのは印象的であった。



Fig-8 展示風景：Hughes Network System, LM などの展示



Fig-9.1 展示風景



Fig-9.2 展示風景

SSPI Gala での出来事・・・危機一髪

Hyatt Regency Hotel での SSPI Gala は今年も 1200 人を超える参加者で盛大に举行された。そんな中でちょっとしたハプニングがおきた、会場には 10 人が着席する円形テーブル

ルが220テーブル超配置されている、その中で会場のほぼ中央わずか右よりの88番テーブルにて、食事を採りながら談笑している参加者の目前に突然金属片の異物が落下してきた、手に持ったワイングラスより数センチの至近距離であった、頭上直撃ではなかったので怪我は無かったが数センチずれていたら大怪我になったところであった。その後天井を確認したらスプリンクラー用のカバーが脱落したことが判明した。ホテル従業員の対応は淡白であったが大事に至らなくて本当に良かったと思う。



Fig-10 Table-88 で談笑している参加者



Fig-11 突然異物が落下し驚く小手川さん



Fig-12 天井のスプリンクラーのカバーが抜け落ちた



Fig-11a 落下物を眺めてホット！



Fig-13 SSPI 会場での美女と？